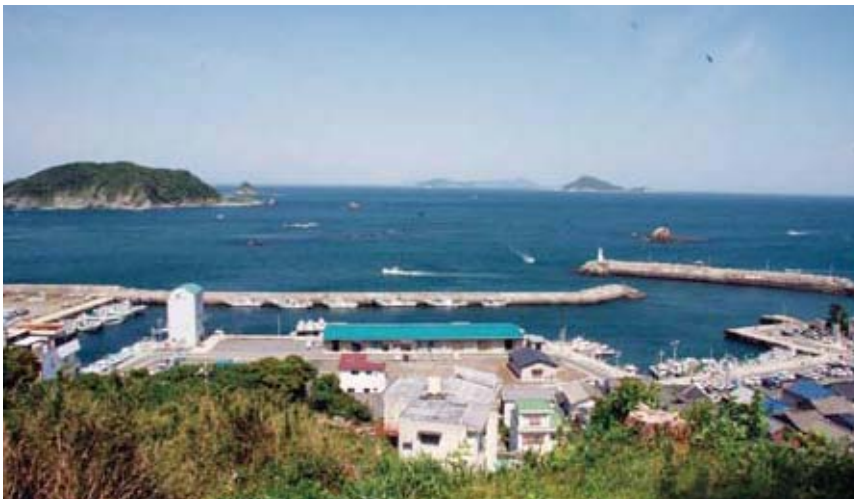


第1回 答志島の島暮らし4日間

～鳥羽市答志島の漁業・自然・文化・人にふれる～



答志港を望む

答志島は伊勢湾の入口、鳥羽市の沖合に浮かぶ小さな離島です。厳しい離島での生活に耐えるための生活習慣、住民間の思いやりが今も息づいており、日本古来の良さが残る島です。もともと漁師生活で生計を立てていた島で、狭い平地に家屋が密集し、細い路地が交錯しているため、地域の絆が強く、人情味溢れる島と言えます。それはこの島に今でも残る寝屋子制度にも現れ、島の男子が15歳になると5～6人が食事以外の生活を共同で過ごし、寝屋子となった若い衆は生涯義兄弟の縁を結び、寝屋子を預かる寝屋親は第二の親となって強い絆で結ば



魚市場で競りを体験してみましょう。



答志島町並み

れます。

そのように地域のコミュニティを大切にする島ですが、島の生業は主に漁業で、一本釣り、刺し網、海女漁などが営まれ、マダイ、伊勢えびなどの高級魚やイワシ、イカナゴなど多種多様な魚類が獲れ、海女漁では季節によりアワビ、ウニ、サザエなどを漁獲し、また島の特産のワカメは春先が旬で、水揚げしたワカメを浜で釜ゆでする風景は環境省の「香り風景100選」に選ばれています。そんな答志島にどっぷりつかり、島ならではの体験と交流で島の人情の機微にふれてみませんか。



海から見た答志島



島の案内人
中村和久さん、
山本加奈子さん



企画の特徴

- ①東京駅から新幹線と近鉄特急利用でゆったりと
- ②大阪難波からは近鉄特急で
- ③魚市場で競りの体験(うまく競り落としたり滞在中の食材に)
- ④カゴ網漁、小船に乗って漁師網体験
- ⑤漁師体験の獲物はさばいて食材にしたり、お土産用に干物を作ってみましょう
- ⑥島人の案内で迷路のように入り組んだ町並みを散策
- ⑦海女小屋で島人と交流しながら海鮮バーベキュー
- ⑧島の温泉にご案内

第4回 しいたけ駒打ち隊

～前年は大震災で中止でしたが、今年は農家のご支援よろしくお願ひします～

常陸大宮市は豊かな自然を残す茨城県北部にあり、市域の6割は山林となっています。昔から林業が盛んでしたが、なかでも恵まれた山里の環境ではぐまれた原木しいたけは品質的にも評価が高く、「全農乾椎茸品評会」個人の部で幾度も農林水産大臣賞を受賞しております。前年は第3回を実施する予定で準備をすすめていましたが、実施の前日に東日本大震災が発生し急遽中止となりました。同市では地震発生から数日間は電気、水道が止まり、鉄道は1カ月以上不通となり、また援農隊で利用予

定の施設が急遽避難所になるなど当時は市民生活に影響がでしたが、今は平静を取り戻しております。幸い農業への地震被害はほとんどなく、しいたけ生産も絶やすることなく今年も植菌作業を例年通り行う予定しております。援農隊の皆さん！前年は残念な状況となりましたが、ぜひ今年はしいたけ農家の応援をよろしくお願ひします。



植菌された原木(ほだ木)は、ほだ場に置かれ、収穫は通常翌年の秋から



宿泊はケビンで男女別の相部屋



ドリルで原木に穴をあけ



駒を埋め込み



金槌で打ち込む



第3回 淡路島カーネーション摘蕾隊

兵庫県 淡路市

～春のカーネーション畑で、気持ちよく作業～

西は瀬戸内海、東は大阪湾に面した温暖な淡路島。棚田の有効活用から生まれたカーネーションは全国トップクラスの生産量を誇ります。

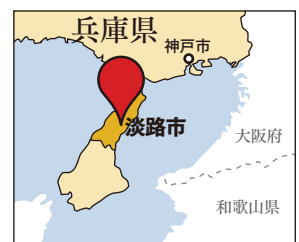
カーネーションといえば、「母の日」のイメージが強く、5月しか栽培していないと思っている方もいらっしゃいますが、カーネーションの栽培は6月から9月まで土壌消毒、定植、摘芯(2回)、10月から翌6月までは「わき芽」を取りながら「収穫・出荷」をします。ハウスの中で、ぐんぐん伸びるカーネーションの「わき芽」を取ることで、花はより綺麗に形良く育ちます。作業は、ひたすらわき芽をとることになりますが、開花の日のための大切な仕事。そのわき芽取り援農ボランティア「第3回淡路島カーネーション摘蕾隊」に参加してみませんか!?



開花の日を心に描いて



根気のいる「わき芽」取りの作業



体験交流企画のご案内

千葉県 鴨川市

第17回 里山の棚田でお米づくりスクール

～棚田でお米を作って、食・農・里山保全を体感しよう!!～

【企画のプロフィール】

千葉県鴨川の山間には大小さまざまな棚田がたくさんあります。しかし過疎化・高齢化が進み、稲作に非効率なため放棄された棚田も目立ちます。棚田はお米の生産目的だけではなく、雨水を受け、地下水を蓄え、里の洪水を防ぐダムのような働きがあり、生き物の育成にも大きく関わっています。この棚田をみんなで守り、子どもたちに伝えていきたいとの思いで、このスクールを開催しております。皆様のご参加は里山の保全につながります。是非ともお誘い合わせの上ご参加ください。



田植えの様子



稲刈りの様子



案山子の出来あがり



大人コースさつまいも植付け



大小さまざまな棚田が広がっています

【昨年ご参加された方からのコメント】

●子どもたちにとって体験することを楽しみながらも、食に関する興味や自然との関わりが学べた第1歩になりました。今後いろいろな企画に参加させていただきたいと思っております。(親子コース40歳代女性)

●田植え～稲刈りまで体験させていただき、食や農業のことを考えるととても良い機会になったと思います。私は野菜や農業にも興味を持っているので、今後を考えて

いく上でも良い勉強をさせていただきました。

(大人コース30歳代女性)

企画の特徴

- ① 田植え・稲刈りの両方に参加いただく企画です。
- ② 親子コースでは案山子づくり、案山子コンテスト
- ③ 大人コースでは休耕田で農作物の植付け、収穫
- ④ 日本の棚田百選(大山千枚田)を見学
- ⑤ 昼食は地元のお母さん方の手作り
- ⑥ 収穫米はみなさんに!!



JAからののお知らせ

長野県 飯山市

りんご援農10周年記念〈ご案内〉

昨年11月の「第10回りんご総採り収穫隊」は、5班で113名の皆様にご支援いただき無事終了いたしました。

さて、長野県中野市(旧豊田村)で「りんご総採り収穫隊」がスタートしたのは平成14年。その後「りんご摘果隊」「りんご葉摘み隊」が始まり、これまで延べ2000名以上の方々にご参加いただき、今ではりんご生産に欠かせない援農隊となっております。JA北信州みゆきでは、10年の節目にあたり、これまでご支援をいただいた「りんご援農隊」の皆様へ感謝の気持ちを込めて「りんご援農隊10周年記念特別企画」を開催します。



【概要】

開催日/平成24年3月17日(土)～18日(日)1泊2日
 集合/JA北信州みゆき本所(飯山市)13:00
 行程/1日目:記念パーティー、戸狩地区民宿泊
 2日目:午前中はりんごの枝の剪定作業(枝拾い)をお手伝い。昼食後解散
 ※都内集合・解散(貸切バス)コースと現地集合コースがあります。
 対象者/今までりんご援農(摘果隊、葉摘み隊、収穫隊)にご参加いただいた方
 申込締切/2月16日(木)
 主催(お問い合わせ)/JA北信州みゆき旅行センター
 TEL 0269-62-5781

このページの企画募集詳細は、広報誌「ふれあい」本号同封チラシ、または本会ホームページ(19ページにURL記載)をご参照ください。

第2回 次郎柿収穫隊

愛知県 豊橋市

～今年の援農隊は雨の日もあって少し残念でした～

11月5日から3日間、援農隊20名の皆さんに次郎柿の収穫をお手伝いいただきました。豊橋市の北部、石巻地区は次郎柿の一大産地で11月は収穫の追い込みに入り、援農隊の出番となります。ところが2日目はあいにくの雨模様。カッパを着てでも作業をしたいところですが、品質を保つため濡れた柿は収穫しません。そこで、各農家では午前中は柿の選別、直売所で販売のお手伝いなど屋内作業をお手伝いいただき、中には茶飲み話で時間を過ごした農家も。午後は農家のご厚意で近くの豊川稲荷に出かけるなど作業休みとなりましたが、農業は天気の影響を受けやすいことをあらためて実感した援農でもありました。

そして3日目は打って変わっての秋晴れで、援農隊の皆さんの本領発揮です。前日の分を取り返そうと額に汗するほど熱心に作業をしていました。今回の参加者のほとんど

は首都圏在住の方々ですが、昼で解散した後は、せっかく愛知県まで来たのだからとその足で旅を続ける方、前日十分な作業ができなかった分、居残りで作業を続けるといった方々もいるなど様々でした。お手伝いいただきました援農隊の皆さん、受け入れていただいた農家の皆さん方に感謝の援農隊でした。(人見 精二)



農家さんとの会話も弾む、休憩のひと時



この日は秋晴れ、作業もはかどります



「来て・見て・体感！ 種子島」4日間

鹿児島県 種子島

～種子島での島暮らしを十分に体感しました～

農林水産省「食と地域の交流促進対策交付金事業」として取り組んだ「来て・見て・体感！ 種子島」。移住・二地域居住に関心のある参加者5名が、11月23日(水)、種子島に出発しました。

1日目は、鉄砲伝来の地「門倉岬」などを見学、JA種子屋久女性部の指導による「郷土料理教室」の体験、そして女性部が用意して下さった島づくしの料理を囲んで、中種子町川下町長と行政、JA、受け入れ農家の方々との大交流会に参加しました。

翌日は、種子島名産「安納芋」の収穫作業、受け入れ農家の方が所有している黒糖工場にて黒糖作りを体験し、各農家で農作業のお手伝いもさせていただきました。

3日目は、「種子島宇宙センター」やマングローブ等を見学し、種子島最大の都市西之表市へ移動。ホテルで移住セミナーを開催し、既存移住者の村上夫妻から島暮らし、移住に関するお話を伺い、行政の担当者から移住に関する支援事業についての説明を受けました。

最終日は、前日説明を受けた移住者用住宅、焼酎工場、鉄砲館などを見学し、種子島の産業、歴史についても学びました。

短い日数ではありましたが、参加された方々にとって種子島での様々な島暮らし体験が、移住や二地域居住について更なる弾みになったことと思います。(松田 典行)



郷土料理教室に挑戦



黒糖づくり体験



受入農家の皆さんと



移住セミナー

活動
報告

第1回 国分ニンジン収穫ミニ援農と松前漬け作り体験

群馬県 国府地区

～見渡すかぎりの山並を見ながら、国分ニンジン収穫のお手伝いをしました～

「甘くて美味しい国分ニンジン復活の取り組みをお手伝い」「ミニ援農だけでも多くの人手が必要なので、ご参加ください」の呼びかけに39名様のご参加をいただき、快晴の下、群馬県高崎市間町の農事組合法人・国府野菜本舗を拠点に活動しました。

集合場所の東京・秋葉原を出発し、道路渋滞もなく2時間10分で現地へ到着、国府野菜本舗の真塩代表理事より歓迎のご挨拶をいただき、身支度後に徒歩にて圃場へ移動し受入れ農家のご紹介、国分ニンジン収穫作業の説明を受けました。

作業は①収穫②にんじん葉の切除③規格品と規格外品の選別④規格品の埋め直し⑤規格外品(ジュース・加工品用)の上部切除を、5班編成でローテーションにて約2時間行いました。数名の方が収穫したばかりの国分ニンジンを「がぶっ」「甘くておいしい～」が印象的でした。皆さんの予想以上の働きで、収穫した国分ニンジンを入れ

るコンテナが不足するほどで、農家の方々も喜んでいらっしゃいました。

昼食は国府野菜本舗会員のおかあさん方の手作り弁当(地産地消)で、太巻き寿司、いなり、にんじんフライ、ずいきと油揚げと芋がらの煮物、にんじん入りコロッケ、にんじんきんぴら、だいこん酢漬、キムチ汁、にんじんスティック等が大好評!「全て美味しかった」との感想を多くいただき、野菜の美味しさを満喫していただけたようです。

昼食後、真塩代表理事を講師として白菜漬けデモンストレーションを行い、続いて松前漬け作り体験を行いました。どちらもレシピを見ながらの説明で分かりやすく、楽しみながらの体験となり、男性の方々が一生涯懸命に調理されている姿も印象的でした。

参加された皆さん!地元の皆さん!ありがとうございます。

来年もたくさんの方に参加していただければ、うれしいです!!

<参加者のコメント>

- ①初めての体験でしたが楽しい1日でした。参加して良かったです。たくさん収穫しても、規格品は半分くらいで、農産物を育てる大変さを感じました。これからも楽しい企画をお願い致します。お世話になり、ありがとうございました。
- ②一般的な観光ツアー(遺跡巡り、紅葉狩りなど)より、ずっとずっと実のあるツアーでした。適度に身体を動かすことができ爽やか体験で感激!!知らなかった世界が垣間見えて、ありがとうございました。リーズナブルな価格も嬉しい限りです。

(竹之内進吾)



規格外(ジュース用)の国分ニンジンの上部切除作業



収穫しやすいよう国分ニンジンを浮き上がらせる農機



お疲れ様です



農機で浮き上がらせた国分ニンジン



保存のため規格品を並べて土をかぶせる



収穫した国分ニンジンを試食



松前漬け作り体験の様子①



松前漬け作り体験の様子②

～平家落人伝説と天空の秘境に暮らす人々との出会いの旅～

【四国初の体験滞在型交流企画を実施】

東日本大震災後の厳しい社会情勢にも拘わらず「ふるさと倶楽部」会員皆様のご理解とご協力により、徳島県三好市で四国地方を受け入れ地とする本会初の体験滞在型交流企画を実施しました。

残念ながら天候には今一つ恵まれませんでした、ほぼ計画通りに無事終了することが出来ました。

【民宿ご夫婦の気遣いに感激】

4日間お世話になった「民宿 新お山荘」では、心温まるお気遣いを受けました。柚子の収穫体験では、小雨の中、トゲに刺されないようご指導を受け、また「ばら寿司」作り体験では、収穫した柚子を使って素朴で美味しい「ばら寿司」の作り方を教えていただき、ご夫婦の気さくなご指導とご主人の太っ腹な対応にご参加の皆さんは感激。奥さんの地場産の素材をフルに使った手料理は、参加者から高い評価を受けました。（参加者アンケートから）



柚子収穫体験の様子



縁側で新お山荘のご夫妻と一緒に

【平家落人伝説に思いを馳せた4日間】

バス1台がぎりぎり通れる曲がりくねった断崖絶壁の細道。祖谷溪谷を走るバスの中では際どい運行状況について「いや、いや、参った」の声、国道439号線(別名:与作?街道)はかつてガードレールもなく転落事故も多かったとか。こんな険しい山奥だからこそ「平家の落人は厳しい源氏の追手から逃れ、隠れ棲むことが出来た」と云う「伝説」にも納得。築300年を超える古民家、かずら橋、琵琶の滝、落合集落など「平家の昔語り」に思いを馳せるには充分な「自然と歴史文化」がそこにはありました。



秘境の小僧小僧



かずら橋を渡る参加者



幻想的な祖谷溪

古式蕎麦打ち体験では、「粉ひき節」コンクール日本一に輝いた都築麗子さんが歌う民謡に合わせて石臼で蕎麦粉をひきました。偶然、平家屋敷にお住まいの「平国盛(平清盛の弟)のちの阿佐家の祖」23代目当主の奥さんとの驚きの出会いもありました。ご参加いただきましたみなさん、お世話になった地元のみなさん、ありがとうございました。

(西尾 憲生)

イヤと言わずにまた来てたもれよ～。
響き渡る美声で「粉ひき節」を謡う都築さん
(右から2人目)

この家は享保年間に建立され、この地の名主だったようです。古文書もたくさん残っていますと農家民宿「八景」の西岡さん(中央)



私の家は平家の末裔なんです



【ふるさと倶楽部の活動がNHKで紹介されました】

都市の中高年の皆さんをターゲットに「新しい旅のスタイル」をご提案する体験滞在型の交流企画が四国で初めて実施されるということで、NHK徳島放送局の取材を受け、四国地方では翌日の朝・昼・夜3回放映され、本会「ふるさと倶楽部」の活動が報道されました。

ふるさとふれ愛便スペシャル

千葉県 鴨川市

八 朔

(商品番号 A111)



1月実施の「水仙の郷ウォークと八朔収穫ミニ援農体験」でおなじみの千葉県鴨川市「みんなみの里」より、特産品「八朔」のご案内です。鴨川の温暖な気候や土質はみかん類の栽培に適しています。安全・安心な農業から生まれた八朔をぜひお試しください。

会員価格 3,400円(送料・消費税込)
北海道・九州お届けは3,600円
沖縄・離島お届けは別料金となりますので
お問い合わせください。
内 容 八朔10kg(Mサイズ)
取扱時期 2月中旬～3月上旬(2月29日まで受付)
取 扱 みんなみの里

和歌山県 紀の川市

手むき八朔缶詰

(商品番号 W114)



八朔の生産量日本一の和歌山県。JA紀の里の八朔を丸ごと使った缶詰です。八朔は大好きだけど皮をむくのが面倒だという方におすすめです。

会員価格 3,500円(送料・消費税込)
内 容 310g×8缶
取扱時期 2月上旬～3月下旬(3月16日まで受付)
賞味期限 製造日より常温で3年
取 扱 JA紀の里

お申込み・お支払いのご案内

FAXまたははがきに、①商品名②商品番号③個数④お名前⑤お届け先住所⑥TEL・FAX番号を明記して下記宛にお送りください。
〒100-6826 東京都千代田区大手町1-3-1 JAビル26F

社団法人全国農協観光協会 ふるさとセンター ふれ愛便係まで TEL 03-6665-0009 FAX03-3213-1074

●お振り込み先

(銀行)三菱東京UFJ銀行 秋葉原支店 (普)3897133 (社)全国農協観光協会

(郵便局)加入者名 社団法人 全国農協観光協会 ふるさとセンター 口座番号 00170-4-582637

振り込み用紙は、銀行または郵便局備え付けのものをご利用ください。

振り込み手数料はお客様にてご負担くださいますようお願いいたします。

商品はすべて送料・消費税込みの金額です。

ふるさとふれ愛便はご入金確認後の商品発送となりますので、ご了承ください。

ホームページからも申込可能です。

ふるさとふれ愛便

検索